



前橋バルストリート2023 ～道路空間を活用した大規模フードフェス～

前橋市 産業経済部 にぎわい商業課

前橋駅前けやき並木通りを舞台に「前橋バルストリート2023」が令和5年9月9日(土)に開催されました。前橋バルストリートの開催は今年で5回目。今年は約200店舗の飲食店がテントやキッチンカーで自慢の料理をふるい、多くの来場者でにぎわいを見せました。

■ 北関東最大級のフードフェス



6車線全面通行止めした
駅前けやき並木通り

イベントのコンセプトは「カッコイイお店が本気で作る カッコイイ大人の休日」。30歳代から50歳代の子育て世代の大人をターゲットに、「道路」という公共空間で飲食を楽しむ屋外型フードフェスとなっています。市内外の飲食店がテントやキッチンカーで出店する飲食エリアのほか、高級車やバイクが並び車両展示エリア、本格的なバーベキューが楽しめるBBQエリア、子どもがバンクで走り回れるキッズエリアなど、約500メートルの区間に子どもから大人まで楽しめる様々なコンテンツが集結しました。

前橋バルストリートは2017年に初開催。前橋駅北口周辺の活性化を目的に飲食店10店舗ほどの出店から始まった歩道でのイベントは、回数を重ねることに来場者が増加。今年はけやき並木通りの6車線を全面通行止めし、過去最大規模での開催となりました。

■ 官民連携による開催

会場であるけやき並木通りは、本市が官民連携によるまちづくりの指針として令和元年9月に策定した「前橋市アーバンデザイン」において、道路空間の利活用という観点からモデルプロジェクトになっているほか、令和3年4月にはまちなかウォーカブル区域に設定されています。前橋バルストリートは、ウォーカブルを推進する活動のひとつとして位置付けられており、市内の飲食店や企業などの様々な業種が集まった実行委員会が主催となっています。

イベント当日には、「食」と「お酒」をはじめとした様々なコンテンツが通りに常設されているベンチなどと上手く融合し、来場者が思うがままに滞在できるウォーカブルな空間が創出され、イベント当日には日中から夜遅くまで1日中滞在している来場者の方も見られました。



また、中心市街地にある「中央イベント広場」では、まちなか店舗が主体となって開催したマーケットも同時開催されたことで、前橋駅と中心市街地を行き来する多くの方の姿を見られ、まちなか全体に大きなにぎわいがもたらされた1日となりました。



夜でもこの人出！



人で賑わう当日の様子

■ 居心地の良い空間を目指して

けやき並木通りにある木々は、どれも幹が太く、まっすぐ高く伸びているものばかりです。その木々が日傘のような役割で多くの木漏れ日をもたらす環境もけやき並木通り特有のポテンシャルであると感じています。

前橋駅-中心市街地-官公庁の3つのエリアを繋ぐ役割としてウォーカブルな空間であることが求められるけやき並木通り。前橋バルストリートをきっかけに、日常的に歩きたくなるような居心地の良い空間ができるよう、引き続き官民連携しながら様々な取り組みを続けていきます。

